

区議会だより Report

2021.4.1

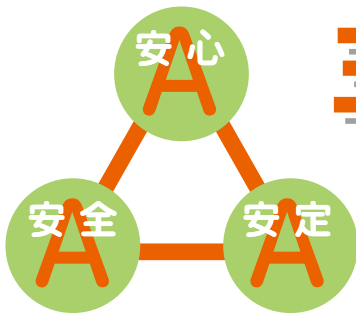
発行:区議会民政ク

江東区亀戸1-23-5

TEL/03-5858-8301

FAX/03-5858-8302

江東区議会議員 徳永まさひろ
社会福祉士・防災士



三世代地域共生の まちづくり

トリプルAの人にやさしい江東区へ

<http://www.tokusankai.com>

E-mail masahiro@tokusankai.com

ポストコロナ社会を見据えた令和3年度当初予算

令和3年第1回区議会定例会が2月24日(水)から3月30日(火)まで開催されました。その間3月1日から6日間、令和2年度8次補正予算と令和3年度の当初予算審議が開催されました。年度内に8回も補正予算を組むのは稀で、やはり昨年からの新型コロナウイルス感染症対策のタイムリーな予算編成が必要であったことが理解できます。そして本会議最終日に、新型コロナウイルス接種関連予算として9次の補正予算と感染症対策費を含めた令和3年度最初の補正予算が同時に審議されました。

江東区として感染症対策をどのようにして、併せて地域経済の下支えをどのようにやっていくのか。また教育現場で子供たちの学びの環境をどのように守ることができているのか。昨年から令和3年度3年度予算編成の中で、編成方針を「区民生活をサポートし、新しい未来への発進予算」として当初予算を編成しています。特徴としてコロナ禍で予想される減収を見込みつつも、ポストコロナを見つめて、多様化する区民ニーズに的確に答え、持続可能な区政運営を行うため、昨年スタートした長期計画及び財政計画の見直

しを行いました。

具体的には、行革の着実な推進と経費削減を徹底しつつも、ICTを活用した業務の効率化や地域福祉計画の策定の中で、子育て・高齢者・障害者支援の充実を図り、また都市マスタープランの策定の中で、安心安全なまちづくりと、ポストコロナの新しい生活様式の中で、デジタル化やグリーンイノベーションに取り組んだ生活快適都市を目指します。特に人材育成の面では、福祉人材の発掘とGIGA構想を含んだ教育環境の整備に積極的に取り組んだ予算になっています。

まちづくりは人づくりと云われます。東日本大震災から10年が経ちましたが、まちの復旧・復興には、住んでいる地域の郷土愛に満ちた情熱が何よりも人を動かすとも言われます。

2040年代の団塊ジュニアが高齢者になるときに、地域が生き生きと暮らしていける地域共生社会を構築するためには、地域の未来を支える人材の育成が何よりも重要になってきます。そのため、政策の実現にこれからも一つひとつ全力で取り組んでいきます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

1 新型コロナ ワクチン接種について

○4月から区内スポーツ会館6会場での集団接種と約150カ所の医療機関での個別接種が並行して行われます。対象者は江東区内に住民登録がある16歳以上の方。接種費用は無料で、事前に予約専用ホームページまたはコールセンターに電話での事前予約が必要です。接種順位は、

- ①高齢者
 - ②高齢者以外で基礎疾患がある方
 - ③高齢者施設等で従事している方
 - ④60歳から64歳の方
 - ⑤それ以外の方
- となっております。詳細は区HPで。

江東区新型コロナワクチン接種コールセンター
 電話：0570-0111008
 時間：8時30分～17時30分
 (月～金曜(祝日を除く))

2 子ども家庭支援センターにおける見守り支援機能の強化について

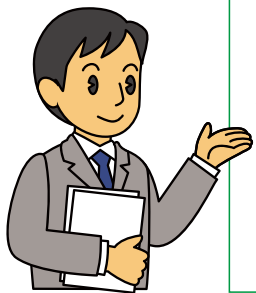
○令和3年度より子ども家庭支援センターにて訪問支援等を開始し、地域における子育て家庭の見守り支援機能を強化します。令和3年度はモデル実施として、大島子ども家庭支援センターで実施。令和4年度から本格実施になります。

3 妊娠出産支援事業(産後ケア事業)の拡充について

○現在実施している産後ケア事業(宿泊型・日帰り型・乳房ケア)の中で、宿泊型産後ケアの対象者が拡充になります。初産で支援を必要とする産後2か月未満の母子から、産後4か月未満の母子に変更になります。変更は4月1日からです。

4 「江東区立幼稚園の今後のあり方に関する基本方針」に係る実施計画の見直しについて

○平成30年10月に策定した実施計画について、将来推計を上回るペースでの園児数の減少、令和2年度から開始した3歳児保育の及び預かり保育への高いニーズを踏まえ、見直しを早急に進めて行きます。今後の方向性(①3歳児保育及び預かり保育の実施、②認定こども園への転換、③適正配置の実施、④私立幼稚園との連携)を継続しながら、各園の活力を中長期的に維持できる計画にしていきます。



お知らせ

●無料法律相談のお知らせ

1月を除く毎月第2土曜日(原則として)午後1時～4時まで、弁護士による無料法律相談を行っています。庶民派の早稲田大学法学部出身の敏腕弁護士が担当します。

場所は徳永まさひろ事務所。事前予約制で毎回3人まで予約を受け付けています。

●区政懇談会(木曜日)のお知らせ

1月を除く毎月第3木曜日、午後7時30分から区政懇談会を行っています。気軽に日頃の区政に対する意見や要望を語り合っています。

場所：二見ビル1階(フェアリース)
 (江東区亀戸1-8-11)

会費は実費です。参加される場合は事前に連絡をお願いします。

●区政報告会のお知らせ

次回の区政報告会は、第2回定例会前の5月下旬から6月上旬に開催します。

場所：亀戸福祉会館 1階多目的室
 時間：午後7時から8時まで
 会費：無料

なお参加をご希望の方は、事前に徳永まさひろ事務所までお申し込みください。

予約・連絡は徳永まさひろ事務所まで
 お願いします。TEL 580088001

皆様の「意見」や「要望」をお寄せください。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大がなかなか終息しない。医療従事者のワクチン接種が2月17日から始まったが、高齢者への接種が4月から始まりいつ終わるのか、地方自治体によって日程が違っても心配である。

一方総務省や農水省での業者との癒着が気にかかる。国会答弁を見てもなかなか本当のことを言わない。言わなくても大したお咎めもない。霞が関の矜持がいつの間にか消え去り、一握りの権力者の利益誘導だけが目立って、国民の側を向いていない。

東日本大震災から10年が経ち、自然の驚異と正面から向き合うことが求められている。それには隠蔽や改ざんのない正しい科学的なデータが必要である。そして何よりも嘘を平気で言わない正直な誠実な信頼のおける政治のリーダーが必要である。

民主主義の原点が選挙にあるならば、投票日には必ず自らの意思で自らの思いをしっかりと表現すべきである。投票数は隠蔽や改ざんすることはできないから。

Profile

- 昭和60年より都議会議員秘書、参議院議員公設第一秘書、衆議院議員公設第一秘書を経て現職(5期目)
- 所属委員会：議会運営委員会副委員長／企画総務委員会／清掃港湾・臨海部対策特別委員会／江東区文化コミュニティ財団評議員
- 資格：社会福祉士／宅地建物取引士／防災士
- 日本らばい協会理事／江東区第三亀戸中学校元PTA会長／亀戸一丁目町会副会長／城東消防団第二分団副団長
- 趣味：ウクレレ／合唱／映画鑑賞



以上が令和3年度の重点事業です。この他にも江東区全体で900の事務事業が行われています。それぞれに政策目的や評価指標等が定められていますが、有効性や効率性など、政策評価や事務事業評価を今後もしっかり行う中で、区民ニーズに的確に対応できる施策を展開していきたいと考えています。特に令和3年度策定予定の地域福祉計画や都市マスタープランのなかでしっかりと取り組んでいきたいと考えています。

5 防災・まちづくり

- 街頭防犯カメラの維持管理経費を補助(1,038万円)
- 大雨浸水ハザードマップを改定(920万円)
- ドローンを活用した被災状況調査訓練を実施(55万円)
- 耐震・不燃化推進事業、消火器整備事業を推進(1,375万円)
- 23区初1台単位での自転車駐車場整備を補助(500万円)

令和3年 第1回 定例会代表質問の内容

2月24日に行われた本会議で、民政クラブを代表して質疑した内容をダイジェストで報告します。

1 令和3年度の予算編成と長期計画の課題について

- ① 予算編成のポイントについて
- ② 新型コロナウイルス感染症対策費について
- ③ 財政計画の展望について
- ④ 長期計画の新たな課題について

A ①は、厳しい歳入環境であるが、ICTの積極的な活用も含めたコロナ後も見据えた予算を編成した。②は、ワクチン接種や区民生活を支える取組等に新たな補正予算の編成も考える。③は、安定的に区民サービスを提供できるように客観的な指標を基に財政力の確保を図る。④は、2040年問題やSDGsの推進などポストコロナにも対応した課題に取り組む。

2 新型コロナウイルス感染症対策の取組について

- ① ワクチン接種のオペレーションについて
- ② エッセンシャルワーカーへの支援について
- ③ 地域コミュニティの再生について
- ④ 中小・小規模事業者への支援について

A ①は、集団接種と医療機関での個別接種で週3万回を確保する。②は、感染症の発症状況等をみて必要な支援を検討する。③は、ICTの利活用を推進する中で、地域の活性化をサポートする。④は、緊急融資の返済が順次始まることから、現状を踏まえた支援策を検討する。

3 第8期 介護保険事業計画の取組について

- ① 介護サービスの見込みと保険料の考え方について
- ② 災害や感染症対策の取組について
- ③ 長寿サポートセンターの機能強化について
- ④ 地域福祉計画との関係について

A ①は、サービス需要は今後も増大と見込み、その中でも基金を有効に使うことで保険料を抑える。②は、介護サービスの安定的な供給のためのBCP支援策を必要に応じて検討する。③は、必要に応じて財政面や人材面の見直しを検討する。④は、医療・介護の需要と供給のバランスを保てるよう必要に応じて対策を検討する。

4 児童相談所設置に関する検討課題について

- ① 児童相談所設置の意義と課題について
- ② 人材確保・育成のための戦略について
- ③ 社会的擁護の環境づくりについて
- ④ 地域福祉計画との関係について

A ①は、児童相談行政を一元的に行うことは切れ目ない支援として有効であり、専門的知識・技術を備えた人材確保が課題である。②は、任期付職員や経験者採用など様々な手段を講じる。③は、施設擁護も検討しつつ里親の支援も十分に組み込み区民の社会的擁護の意識を高めていく。④は、児相設置にあたって地域のつながりを作っていく。

議会報告

令和3年度当初予算概要

3月30日に令和3年第1回定例会が終了して、いよいよ令和3年度当初予算が4月1日からスタートします。今回の予算は、「区民生活をサポートし 新しい未来への発進予算」を編成方針のテーマに掲げ、昨年初からの新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中、非常に厳しい区民生活や地域経済の現状を守るために、より具体的に積極果敢な予算を編成しています。

まず全体の予算規模については、一般会計の当初予算規模が、2,171億2,900万円、前年度比1.8%増で、一般会計と3つの特別会計を合わせた総予算規模は3,134億7,300万円、前年度比1.0%増で、予算規模としては過去最高額となっています。(表①)

また一般会計の性質別歳出予算は、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)が1,093億4,015万円、前年度比2.5%増、投資的経費(普通建設事業費・積立金)が266億2,

824万円で前年度比4.4%増になっています。次に各分野における主な重点事業について報告します。

表① 各会計別予算規模

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率(%)
一般会計	2,171億2,900万円	2,132億9,800万円	38億3,100万円	1.8
国民健康保険会計	481億4,400万円	496億3,900万円	△14億9,500万円	△3.0
介護保険会計	375億6,000万円	367億7,600万円	7億8,400万円	2.1
後期高齢者医療会計	106億4,000万円	105億2,300万円	1億1,700万円	1.1
合計	3,134億7,300万円	3,102億3,600万円	32億3,700万円	1.0

① 健康福祉

- PCRセンターの運営、患者搬送用車両の運用、相談センターの運営等の取組み(1億2,743万円)
- 在宅要介護者に対するサービス継続支援(2,899万円)
- オンラインで高齢者のサークル活動支援(124万円)
- 補聴器の支給に現金助成を新たに追加(798万円)
- 重度障害者等の就労支援や意思疎通の促進(2,796万円)

② 産業生活

- コロナ禍での区内事業者に対する資金繰り支援(2億4,189万円)
- 中小企業・小規模事業者等のICT化を促進(625万円)
- 江東ブランドをPRするウェブサイトを充実(257万円)
- 男性DV・LGBTB等の相談窓口を開設(112万円)
- 江東区ゆかりの渋沢栄一関連イベントを開催(216万円)
- 東京2020大会を盛り上げる活動を実施(8,939万円)

③ こども・教育

- 区内初児童向け複合施設(子ども家庭支援センター・子ども図書館)の整備(20億5,765万円)
- 子ども家庭支援センターを2カ所整備(2,916万円)
- 子ども家庭支援センターの見守り支援機能を強化(2,680万円)
- 認可保育所の整備を推進(約900人の定員増)(27億4,272万円)
- 区立小中学校のICT化を推進(4億388万円)

④ 緑・環境

- 廃棄物処理に関する2つの計画を改定・策定
- 一般廃棄物処理基本計画推進管理事業(613万円)
- 災害廃棄物処理計画策定事業(600万円)
- 動画で環境学習の機会を創出(200万円)
- 若洲公園の管理運営にPark・PFIを活用(699万円)

